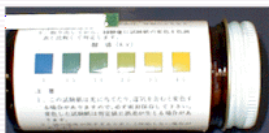


(3) 材料と道具の注意事項

●てんぷら油

- ・家で使っているてんぷら油を使います。
- ・廃油を使う場合は、ペーパータオルで濾して香料を入れます。

- (1) 容器に油を取り室温にもどしてから試験紙を油に浸し、2秒後に取り出します。
- (2) ビーカーの縁などで過剰の油を除き、30秒後に試験紙の変色を色調表と比較して、判定します。



★色が黄色になるほど変質が大きい



●香料(油性)

- ・廃油を使う場合、におい消しに使用します。
 - ・オレンジとラベンダーがおすすめです
 - ・10ccで 100 円
- (水性は油と分離するため不向きです)



●着色料

ソフト(紙巻)タイプの蛍光タイプのクレヨン
廃油の場合は、オレンジ色が良いです
(高融点のものは廃油に溶けません)



●てんぷら油(植物油)処理剤

- ・固めるテンプルなど、植物油処理剤を使います。
- 食用には適さないので決して食べないように！

●ガラスコップ

普通のガラスコップは、部分的に加熱されると割れることがあるので注意！
(耐熱ガラスの方が割れにくい)



(4) キャンドルの作り方

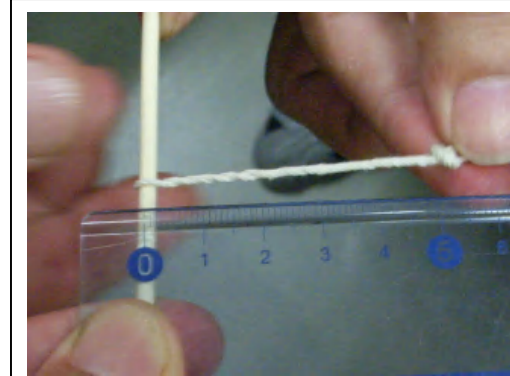
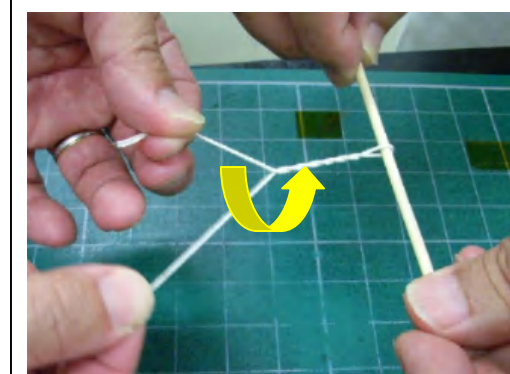
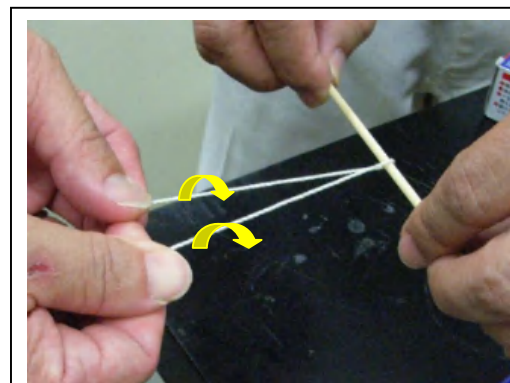
① てんぷら油を加熱する

- なべ やく みず い ひ か やく ど ゆ よう い
鍋に約5cm水を入れて火に掛け、約85°Cのお湯を用意する。
 - きゅう す はんはんぶん い じょう あぶら い
急須に半分以上てんぷら油を入れる。
今回は、空き缶に200cc程度の油を入れる。
 - ゆ なか きゅうす あ かん お あぶら あたた
お湯の中に急須(空き缶)を置き、てんぷら油を80°Cまで温める
- ☆熱いのでお湯とてんぷら油には直接触らないこと!

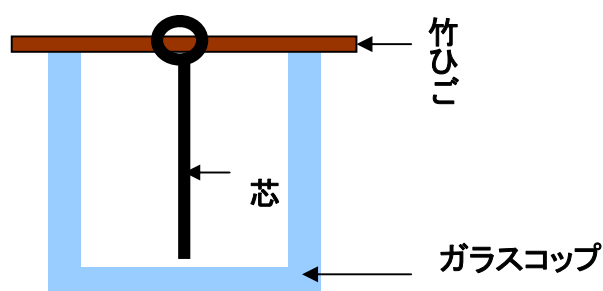


② 芯を作り、ガラスコップにセットする

- いと なが き
タコ糸を20cmの長さに切る
- き いた たけ か りょうたん
切ったタコ糸を竹ひごに掛けて、両端をそれぞれねじりあげる
(ほどけるのとは逆の方向にねじる)
- いと かたほう かたほう ま
ねじったタコ糸の片方をもう片方に巻きつける
- やく ま はし むす
約4cm巻き、ほどけないように端を結ぶ



- しん たけ
ガラスコップに芯をつけた竹ひごをセットし、
しん そこ あ
芯がガラスコップの底に当たらないようにはさみで切る
(芯が長いと芯が曲がってしまいます)



③-1:加熱した油に3つの薬を入れ溶かす

●薬1;固まるテンプル(廃油処理剤) 3分の1

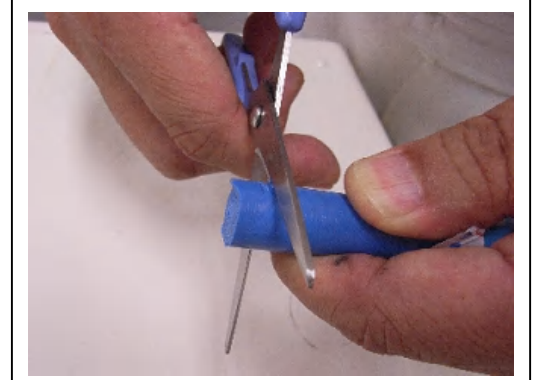
- ・ 80℃に加熱したてんぷら油に固まるテンプルを半分入れ、
割り箸でよくかきまぜて完全に溶かす

かき混ぜる時は、軍手をして、空き缶が倒れないように
しましょう



●薬2;クレヨン(着色剤) 半分

- ・ 1本のクレヨンを半分にはさみで切る
- ・ それを細かく切ってから急須(空き缶)に入れ、
割り箸でよくかきまぜて、完全に溶かす

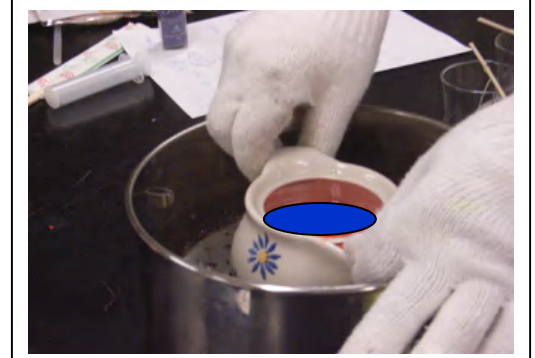


●薬3;香料 1cc

- ・ 一度使った油(廃油)を使う場合は、におい消しのために
香料を1cc程度入れる

(今回は使いません)

全て溶けたら、やけどしないようにペンチなどで
空き缶をつまんでお湯から取り出す



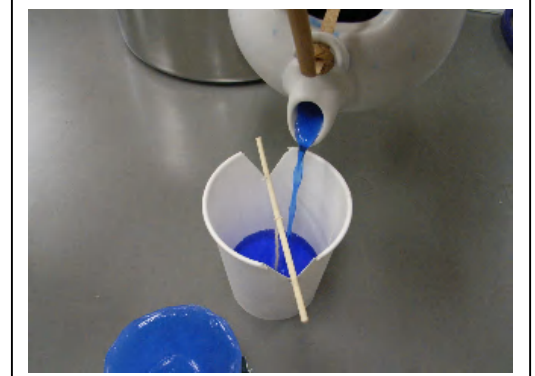
③-2:ガラスコップに注ぎ込み、冷却する

- ・ 3つ(2つ)の薬を入れた油をガラスコップに流し込み、
芯は中心にセットする

*多層のキャンドルにする場合は油が完全に冷えてから
違う色を入れる

- ・ 水を張ったバット(鍋)にガラスコップを入れる
- ・ 固まったらバット(鍋)から取り出し、竹ひごを回転させて抜く

ロウが固まる前に竹ひごを抜かないこと



④あと片付け

- ・ 空き缶に残ったキャンドルの材料は、新聞紙などでふき取った後、
割り箸やへらでかき取り、全て燃えるごみとして捨てる

